

バイオインターフェイス研究部会代表

名古屋大学大学院工学研究科 化学・生物工学専攻

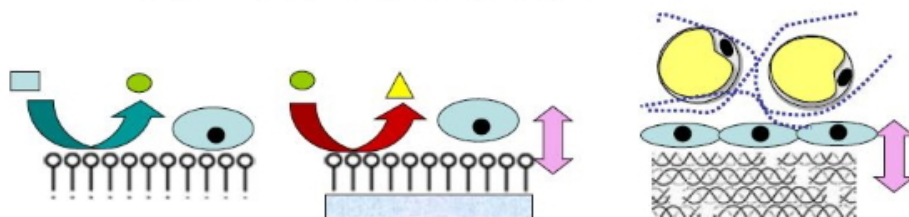
堀 克敏

⇒ [研究概要図](#) 

本部会ではこれまでのバイオインターフェイス研究の成果をさらに上位の段階へ発展させるという観点から“より細胞の表層に近い機能をもつバイオインターフェイスのデザイン”を目的とし、これらの機能制御された生物界面を利用した新しい分子デバイスや、人工細胞の創生技術への応用をめざします。本部会では細胞表層の基礎的研究を行っている研究者から、細胞表層を改変、設計する生物工学分野の研究者、生物機能を組み込んだ人工界面やデバイスの創生に取り組むナノバイオテクノロジー分野の研究者など、幅広い分野からの参加を期待しております。

バイオインターフェイス(バイオ界面)研究の中心的テーマ

- ・ 材料に生物材料を使用した表面との界面
- ・ 非生物材料を生物材料で覆った表面との界面
- ・ 高分子材料と生体との接触界面



“インターフェイス”(物と物との接触面や中間面)における特定の化学反応の検出を研究対象にしており、'バイオ'とは主に生物由来材料をさす。

委員

堀 克敏 (名大・工)	民谷 栄一 (阪大・工)
神谷 典穂 (九大・工)	植田 充美 (京大・農)
高木 昌宏 (北陸先端大・マテリアル)	近藤 昭彦 (神戸大・工)
本多 裕之 (名大・工)	田丸 浩 (三重大・生物資源)
跡見 晴幸 (京大・工)	大河内 美奈 (東工大・理工)
三宅 淳 (阪大・国際医工情報センター)	中西 周次 (阪大・太陽エネ化)
中村 史 (産総研)	藤田 聡史 (産総研)
吉野 知子 (農工大)	山口 哲志 (東大・先端研)
座古 保 (愛媛大・理工)	田中 祐圭 (東工大・理工)
梅津光央 (東北大・工)	

これまでの活動

- 【共催行事】 [2020 Sakura-Bio Meeting](#) (2020/3/30-31)
- [最新バイオインターフェイス研究会・道後](#) (2019/11/27)
- [最新バイオインターフェイス研究会・湯布院](#) (2019/2/8)
- [最新バイオインターフェイス研究会・金沢](#) (2018/1/26)
- 【共催行事】 [IGER International Symposium on Cell Surface Structures and Functions 2017](#)
(2017/11/30)
- [最新バイオインターフェイス研究会：三重～科学研究のアプローチ：1\) 発見・解明と2\) 創造・創生のインターフェイス～](#) (2017/3/31)
- [最新バイオインターフェイス研究会](#) (2016/2/5)
- 【共催行事】 ["未来へのバイオ技術"勉強会「バイオインターフェイス」](#) (2015/2/26)
- 【共催行事】 [IGER International Symposium on Cell Surface Structures and Functions](#) (2013/9/1-3) ⇒[印刷ポスター](#) (884KB)
- 【共催行事】 [CFC&SBJ デザイナブルバイオインターフェイス ワークショップ](#) (2014/2/7)

問合せ先

名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻
堀克敏 [E-mail](#)

⇒[研究部会TOP](#)へ